

■ はじめに

本書は、マイクロソフト社が配布するセキュリティパッチに対する、当社システム製品の対応方針について説明します。具体的なセキュリティ対策については、TI 33Y01B30-01「システム製品セキュリティ対策基準」を参照ください。

当社システム製品をセキュリティの脅威から守るため（保護するため）の対策として、以下の基本方針を策定しています。

● 制御ネットワークの分離

制御システムのネットワークは、セグメントを分けてファイアウォールにより他のネットワークと分離することを強くお勧めします。

● セキュリティパッチのインストール

当社では、お客様の制御システムに対して、通常の IT 環境と同様のセキュリティ対策が必要となる場合があることを想定しています。

当社は、マイクロソフト社の発行するセキュリティパッチを調査し、関連があると判断したものについてシステム製品との組み合わせテストを実施し、その情報をお客様に提供します。これにより、お客様は、個々のセキュリティパッチの対応の重要度を確認することができます。

セキュリティパッチのインストールは、お客様のセキュリティ対策方針に従って実施していただくことが前提です。インストールに伴うお客様のシステムへの影響を考慮し、事前に動作確認を行うことをお勧めします。

当社では、制御システムのセキュリティパッチについて、できるだけ早い機会に対象となる全てのパッチを適用することをお奨めします。セキュリティパッチのインストールについては、当社サービス窓口までお問い合わせください。

■ 判断基準とその過程

マイクロソフト社は通常、毎月 1 回セキュリティパッチ情報を公開しています。公開後、以下の手順により、対応します。

ステップ 1

それぞれのセキュリティパッチが対象とする OS およびアプリケーションについて、各システム製品に関連があるか否かを確認します。マイクロソフト社からの公開後、通常 3 営業日以内に実施します。

対策が不要と判断された場合、ステップ 3 を実行します。

ステップ 2

システム製品ごとにセキュリティパッチとの組み合わせテストを実施します。マイクロソフト社からの公開後、通常 7 営業日以内（目標期限）に実施します。

組み合わせテストにより、問題が発生した場合、その情報をお客様に提供します。

ステップ 3

セキュリティパッチに関する更新情報は、随時、お客様にお知らせします。全てのセキュリティパッチについて、システム製品ごとに重要度や対応の可否を提示します。

Technical Information 改訂情報

資料名称: マイクロソフト社 セキュリティ・パッチに対する基本方針

資料番号: TI 33Y01B30-02

2006年10月 / 初版

新規発行

2007年2月 / 2版

拠点サービスに関する記述を削除

2008年9月 / 3版

セキュリティ・パッチの適用方針の変更

組み合わせテスト方法の変更に伴う改訂

2013年5月 / 4版

セキュリティパッチの適用についての文章を追記

著作者 横河電機株式会社
発行者 横河電機株式会社
〒 180-8750 東京都武蔵野市中町 2-9-32
